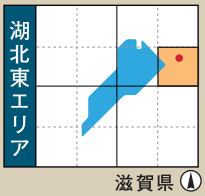
史跡
国指定

清滝寺京極家墓所

きよ　たき　でら　きょう　ごく　け　ぼ　しょ

山東町清滝　昭和7年3月25日指定



京極家は、鎌倉時代中期に近江源氏佐々木氏から分かれ、室町時代には北近江の守護として大きな力を持った名家で、その子孫達は各地の近世大名として栄えました。

清滝寺京極家墓所は、江戸時代に京極高豊が整備した墓所で、中世から近世にかけての大名家の墓制を知る文化財です。

当時のできごと	
1281年	弘安の役
1669年	シャクシャインの乱
1672年	ルイ14世 オランダ戦争勃発

京極家墓所

京極家は、鎌倉時代中期に六角氏、高島氏、大原氏と共に四流に分かれた、近江源氏佐々木氏の一流で、他の3家が戦国期に衰退したのに対し、幕末まで栄えました。この墓所には、氏祖氏信の塔から25代高中及び、分家の多度津藩主５代の塔など34基の宝篋印塔（ほうきょういんとう）と4基の五輪塔が林立しています。史跡となっている墓所は、寛文12年（1672）に讃岐丸亀藩主22代高豊が墓参の不便を考え、付近に散在していた各代の墓石を集めて整備したものです。宝篋印塔の多くには銘が刻まれており、形式の変遷を知る上でも貴重な資料となっています。



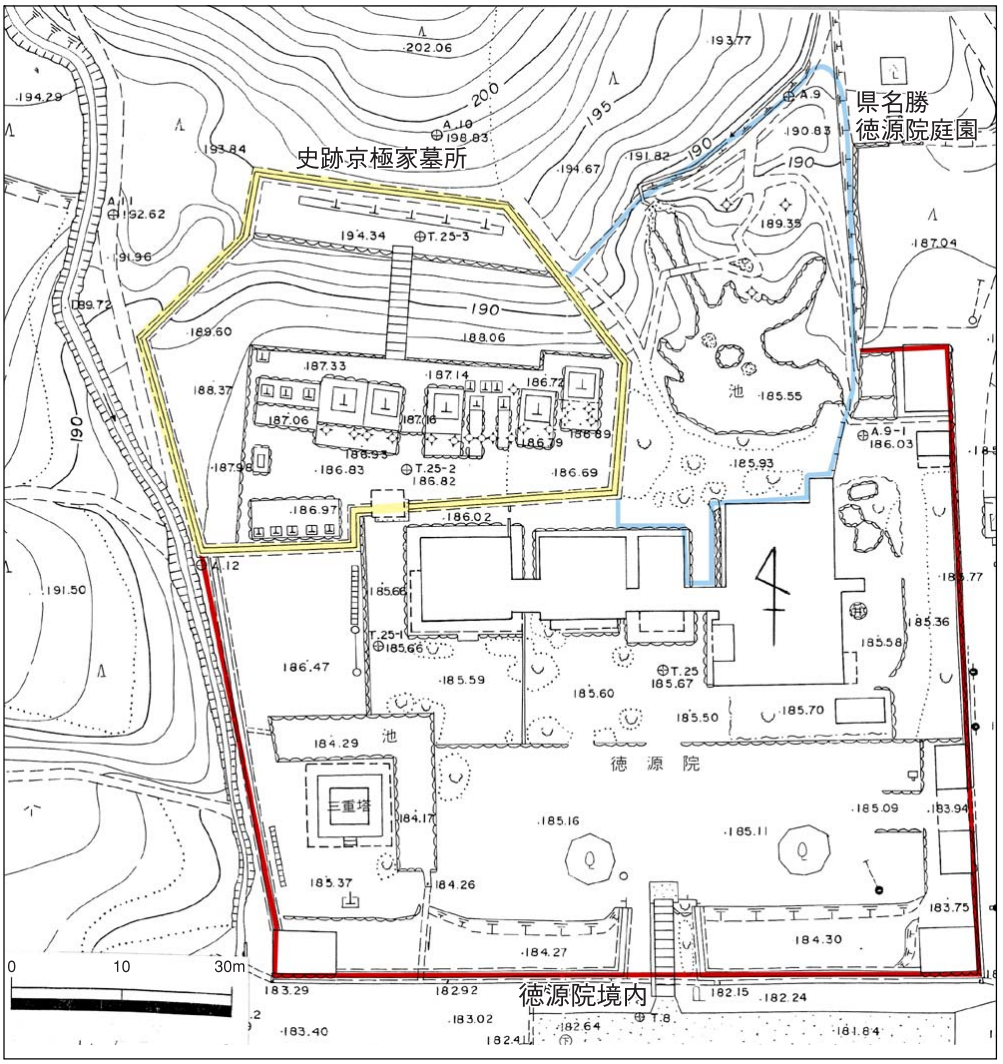
近世大名の木製霊屋



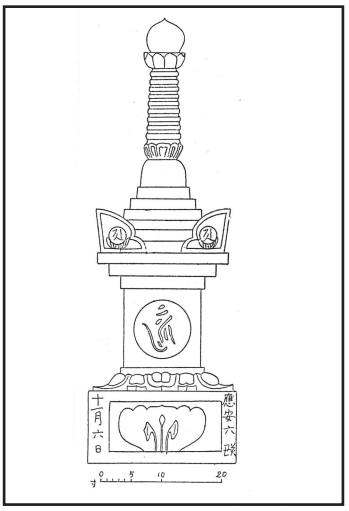
中世宝篋印塔

清滝寺について

清滝寺は、京極家の氏祖氏信が弘安年間（1278～88）に定誓阿闍梨を招請して開基した寺と伝えられています。本尊は、氏信の護持仏の聖観音菩薩像でした。永仁2年（1295）氏信の死後、寺内に墓を建て、以後京極家は清滝寺を菩提寺に定め、歴代当主の墓所としました。浅井氏の台頭と共に寺運は衰えますが、丸亀藩主京極高豊が、所領の播磨の国2村と清滝寺周辺の土地を知行替えすることにより、同寺を復興しました。この時に墓所を整備したことは先に触れたとおりです。



徳源院境内図



京極高氏（道誉）石塔



第25代高中木製霊屋（東より）

墓所の特徴

京極家歴代の墓所は、清滝寺の法灯を伝える徳源院本堂の裏の土塀に囲まれた中にあります。土塀の中は上下2段に分かれ、上段には氏祖氏信から18世高吉までの宝篋印塔が並びます。この中にはばさら大名として名を馳せた京極高氏（道誉）の塔も含まれます。塔の材質は３基が砂岩、残りは花崗岩です。

下段には中に宝篋印塔を安置する19代高次の凝灰岩製霊屋と、22代高豊から25代高中までの木製霊屋ほか、分家した多度津藩主の塔などが安置されています。

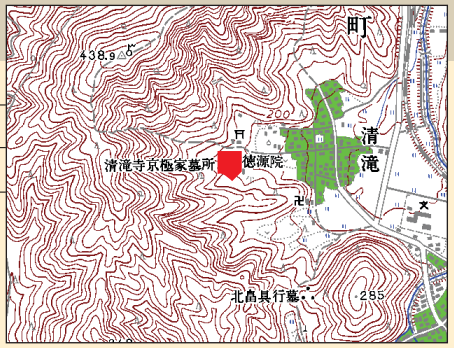
関連する文化財

京極氏遺跡（伊吹町）	学習シートNo.033
丸亀城跡（愛媛県丸亀市）	讃岐丸亀藩の城。藩主が京極氏の流れ
小浜城跡（福井県小浜市）	若狭小浜藩の城。藩主が京極氏の流れ
徳源院庭園（山東町）	学習シートNo.100

もっと深く知りたい

山東町柏原宿歴史資料館	☎0749-57-8020	坂田郡山東町柏原2101
伊吹山文化資料館	☎0749-58-0252	坂田郡伊吹町春照77
安土城考古博物館	☎0748-46-2424	蒲生郡安土町下豊浦6678

清滝寺京極氏墓所へのアクセス　JR東海道本線　柏原駅下車



【参考文献】〔図説日本の史跡〕同朋舎　〔近江の遺跡〕（財）滋賀県文化財保護協会　〔滋賀県史蹟調査報告１～12〕滋賀県保勝會

滋賀県教育委員会事務局文化財保護課　平成16年3月